

「いたばしNo.1 実現プラン2021」の取組 ～「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向けて～

「いたばしNo.1 実現プラン 2021」（以下「No.1 プラン 2021」）は、「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちをめざす「いたばしNo.1 実現プラン 2018」（以下「No.1 プラン 2018」）に続く、ステップアッププログラムとして、計画的に実施すべき事業である「実施計画」のほか、長期的な視点から区政経営の最適化をめざす「経営革新計画」、区政を担う人材・組織づくりを実現するための「人材育成・活用計画」の三本柱で構成されており、平成 31 年度よりスタートします。

「No.1 プラン 2018」 がもたらしたもの (2015 年度～2018 年度)

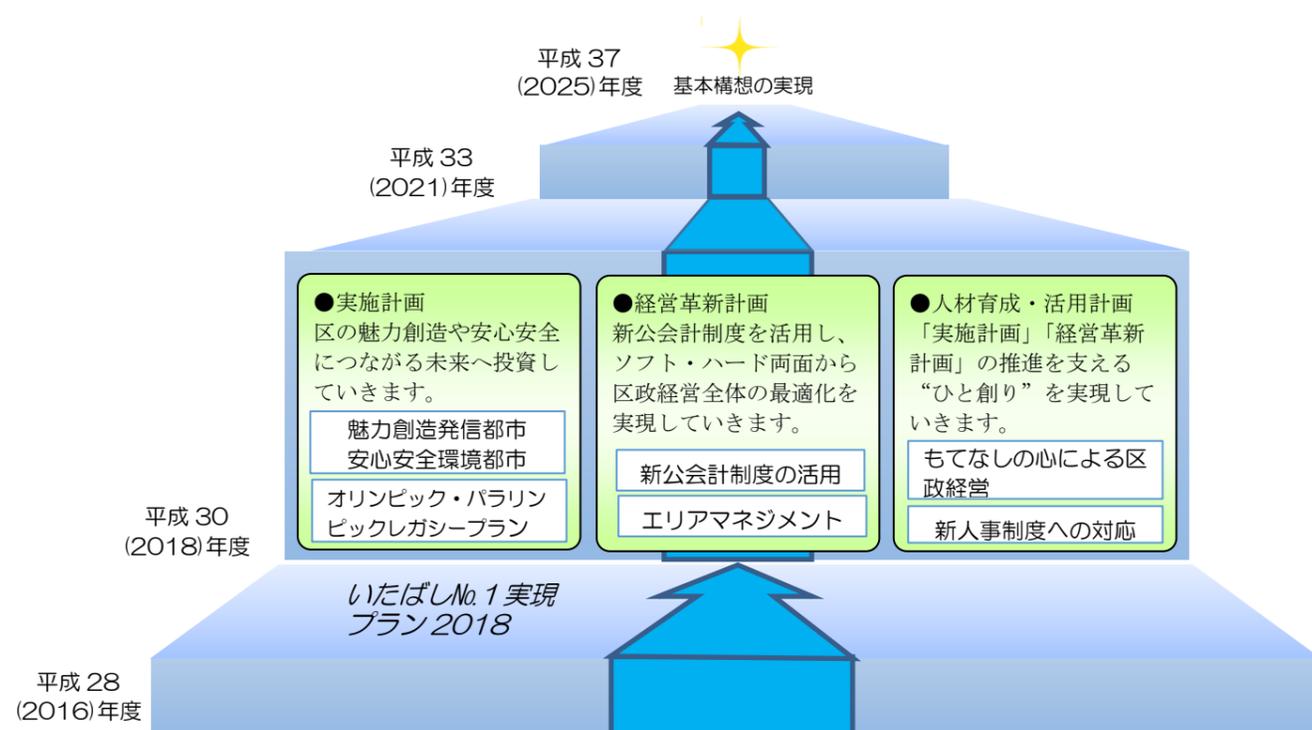
板橋の魅力を高め、未来を創造していく第一歩として、新たな価値を提供する、都内初となる乳幼児親子に対する育児支援を中心とした子育て応援児童館 CAP'S の始動、美術館大規模改修や中央図書館の改築などに着手し、しっかりとした足どりで基本構想実現への道を歩み始めました。

「No.1 プラン 2021」 が掲げていくもの (2019 年度～2021 年度)

本計画期間中に開催される、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会や国際社会の一員として取り組むべきSDGs※をしっかりと見据え、これまでの取組の成果が花開き、誇りと魅力が実感できるよう、「実施計画」「経営革新計画」「人材育成・活用計画」三位一体の力で、区が秘める未来の価値を引き出し、光輝く未来に近づけていきます。

※SDGs(持続可能な開発のための目標)
2030 年までに達成すべき国際目標のこと。世界が抱える課題に対応し、持続可能な社会を実現するため、分野ごとに 17 の目標が定められている。

【基本構想の実現に向けて】



「実施計画」

68 事業

「板橋区基本計画 2025」（以下「基本計画」）に基づき、区政を総合的・体系的に推進するために、計画的に進行管理していく主要事業をとりまとめた計画です。基本計画に掲げた施策目標の中間年における到達点（2020 年度）を踏まえて、着実に事業の展開を図っていきます。

「経営革新計画」

15 事業

将来的な行政需要に対応しうる柔軟な財務体質の実現はもとより、行政サービスの質を維持し、区の魅力創造に向けた事業展開を図るための下支えとなる計画です。“将来的な効果の最大化”や“新公会計制度の導入によるマネジメント機能の強化”を図り、時代の変化に的確に対応しながら財政基盤を確立していきます。

「人材育成・活用計画」

27 事業

「実施計画」や「経営革新計画」の推進を支える“ひと創り”の役割を人事政策の観点から担っていく計画です。国が推進する働き方改革や新たな人事制度などに対応した環境整備、これからの区政課題を解決できる職員の育成と戦略的活用を重点に、事業の展開を図っていきます。

【「No.1 プラン 2021」を構成する各計画相互の関係性】

